

福祉ほうあん

法人本部 A	☎250-0004 小田原市浜町1-4-38 ☎0465-22-7667 ☎0465-24-4411
小田原愛児園 B	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8
小田原乳児園 C	☎0465-22-3523 ☎0465-22-3524
ほうあん リずのもり D	☎250-0004 小田原市浜町1-3-8 ☎080-4371-1900 ☎0465-22-3524
ほうあんのぞみ E	☎250-0004 小田原市浜町1-2-15
ほうあん生活ホーム F	☎0465-22-8837 ☎0465-22-8089
ほうあんふじ G	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4010 ☎0465-41-2666
ほうあんふじみのさと H	☎250-0201 小田原市曾我大沢7 ☎0465-41-4020 ☎0465-41-2777
ほうあん第一しおん I	☎250-0024 小田原市根府川389 ☎0465-29-0146 ☎0465-29-0705
ほうあん第二しおん J	☎250-0024 小田原市根府川383 ☎0465-28-2250 ☎0465-28-2251
ほうあんホームシトラス K	☎250-0024 小田原市根府川389-1 ☎0465-28-2250 ☎0465-28-2251
こどもホッと相談カフェ	☎250-0042 小田原市荻窪362-2 ☎0465-32-3020 ☎0465-32-3085

発行/社会福祉法人宝安寺社会事業部
☎250-0004 小田原市浜町1-4-38
☎0465-22-3030 ☎0465-24-4411
編集/近藤秀樹 加藤徳治 笠原敬俊 山崎由美子 露木ありさ 山崎美由樹 上田理 大水清世
デザイン/鈴木住夫
印刷/樹セトプリント

<http://houan1900.jp>



©社会福祉法人宝安寺社会事業部 2016 「福祉ほうあん」は再生紙を使用しています

放課後は 未来の自分に 繋がってる

ほうあん第一しおん [しおんワークプレイス]が大切にしていること



作業訓練



どの方も真剣なまなざしで取り組んでいます

放課後は何をやる時間？

「放課後等デイサービス」というユニークな名前の福祉サービスがあることをご存知でしょうか？

放課後等デイサービスは、障害のあるお子さん・学生さん（小学1年～高校3年）が、放課後や学校がお休みの日を共に過ごす居場所であり活動場所です。子どもたちの生活能力向上のための、さまざまな活動や訓練を提供しており、「障害のある児童のための学童保育」と呼ばれることもあります。

平成24年に始まった新しいサービスですが、学齢期・思春期という大事な時期にある障害のあるお子さんのための放課後の活動場所が必要だということは、以前から隠れたニーズとして多くの人が感じていたことでした。

そこで、学校でもない、家庭でもない、第三の発達の場を提供するサービスが生まれたのです。現在では事業所数は神奈川県では2・6倍に増え、事業所ごとに特色ある運営をしていることから、児童はそれぞれのニーズに合った事業所を利用できるようになっています（※1）。

ください。放課後に、学校とは違う環境で仲間と過ごした思い出は、皆さんそれぞれにあると思います。放課後に仲間と楽しく遊ぶ、時にはけんかもある、楽しい経験もほろ苦い経験もたくさんしてきたと思います。そのような経験を通じて社会での生活力を身につけてきたのだと思います。

しかし、障害のあるお子さんは、放課後はずっと家庭で同じような毎日過ごすことが多く、そのような経験ができない状況があり、また、そのことについてどこに相談していいのかさえ分からないような状況もありました。

放課後等デイサービスはこのような状態を改善する福祉サービスとして誕生しました（※2）。

生きる土台となる力、人格的な力を育てるのは、信頼でき安心して過ごせる居場所と仲間です。そして子どもに遊びにいける場所がある、遊べる友達がいるということは、家族の安心にも繋がります。

宝安寺社会事業部では、2箇所の放課後等デイサービスを運営していますが、今回は中高生を対象とした「しおんワークプレイス」をご紹介します（※3）。

放課後等デイサービスとは、どのような経験を私たちにたらす時間だったのでしょうか。放課後、遊びやスポーツに夢中になりながら、私たちは将来社会人として職業を通じて自己実現していくための準備をしていきます。トランプや鬼ごっこといった遊びに熱中しながらルールを守ることを学び、規則があるからその楽し

2面に続く

ワークプレイスは社会人への準備室

宝安寺社会事業部では、2箇所の放課後等デイサービスを運営していますが、今回は中高生を対象とした「しおんワークプレイス」をご紹介します（※3）。

放課後等デイサービスとは、どのような経験を私たちにたらす時間だったのでしょうか。放課後、遊びやスポーツに夢中になりながら、私たちは将来社会人として職業を通じて自己実現していくための準備をしていきます。トランプや鬼ごっこといった遊びに熱中しながらルールを守ることを学び、規則があるからその楽し

宝安寺社会事業部のプロフィール

〔浜町地域〕 A B C D E F
宝安寺の境内には、2つの保育園と病後児保育室、知的障害者の就労支援と日中活動を支える事業所とお店、グループホームがあります。産休明けから小学校入学までの乳幼児と病後児を保育し、一方で知的障害者が町の中で暮らす援助をしています。

〔曾我大沢地域〕 G H
発達に心配のある地域の幼児の療育とそのご家族への援助を目的とする児童発達支援センターと、ご家族から離れて暮らしながら穏やかに自活・自助を目指す成人の知的障害者の生活を支える施設入所支援の場があります。また日中も通所してさまざまな活動を行う場を提供しています。

〔根府川地域〕 I J K
知的障害者が通う日中活動の場（事業所）が2つあります。この2つの事業所が協同して、事業所利用者それぞれに適した作業や余暇活動を用意し、地域社会の中で当たり前の生活を安心してできるようにしています。また地域の障害のある児童のための放課後等デイサービスも実施しています。

※1 活動内容は室内外での遊びが中心のものから学習要素の濃い教室的なものまであります。

※2 平成24年、児童福祉法が改正され、それまで障害者の法律の中で扱われていた障害児に関する問題は、児童福祉の中で扱われることになりました。「障害のあるなしにかかわらず、児童として扱う」ということが明確に定められたとき、この福祉サービスも開始されたのです。

しおんワークプレイスの使命

しおんワークプレイスの特徴は、ただの居場所ではなく、将来の力を培うための経験の場であるところです。しおんワークプレイスを利用している児童は、一人ひとり違った障害があります。年齢や障害の特性もさまざまです。そんな児童の個性を尊重しながら、日々支援しています。

仕事
将来の働く力を培えるように支援します。

コミュニケーション
多くの仲間との関わりを通し、協調性を学べるように支援します。

自立
社会人へのステップを仲間や職員と一緒に体験し、学べるような場所となるよう支援します。

ワークプレイスに行ってみよう

「社会の縮図」であったことに気づかされます。そして、そのとき浮かんだ「どんな大人？」のイメージは、たいてい何らかの職業観や勤労観と結びついていくことに気づきます。これらのことが、私たちが大人になつて辿り着いた職業や立場や人間関係のあり方にも大きな影響を与えているのです。

考え続けてきました。しおんワークプレイスのプログラムにはそんなほうあん第一しおんの経験が活かされています。
(参考:「ほうあんのぞみの就労支援とキャリア形成について」平成26年度きらりフエスタ実践報告会資料より)

Q 誰が利用できますか？(利用対象者)

しおんワークプレイスでは、利用対象者を小田原市内、足柄下郡の中

学校の特別支援学級の学生と県立小田原養護学校の中等部、高等部の学生としています。小学生が利用できる事業所が多いなかで、対象者を中

高生のみに行っている理由は、しおんワークプレイスの母体が、ほうあん第一しおんであることに関係しています。ほうあん第一しおんは、「働くこと」を活動の中心にしている就労支援施設です。そこでは、障害のある大人の方向が、日々、パン製造や焼き菓子の製造、請負作業、清掃作業などを行っています。ほうあん第一しおんの持っている作業訓練等のノウハウを活かして、障害のあるお子さんのために何かできないか検討したことがしおんワークプレイスの始まりで

宮原 勝 治様	20,000円
匿名様	50,000円
匿名様	50,000円
山室 和彦様	手作り布人形ほか
石渡 英夫様	20,000円
フォトリエグリム様	112,702円
匿名様	10,000円
ヤブタ 塗料(株)様	キーホルダー多数
立田 印刷所様	お絵かき用の紙
中西 晴子様	生花
中西 由季子様	手作り布おもちゃ
都築 千恵様	生花
松本 公子様	お花苗多数
匿名様	50,000円
(株)ジャパンビバレッジ セントラル伊東支店様	ベンチ

話し合いの結果、作業訓練等を日課にするには、中学生からが妥当ではないかという結論に至り、対象を中高生にしました。中高生は数年後



30年目を迎えた『福祉ほうあん』は、読者の皆さまの協賛金によって発行されています。法人として、個人としてご協賛いただける方を募集しています。協賛は1号につき7000円、年間2万円(3号発行)です。お申し込み、お問い合わせは 社会福祉法人 宝安寺社会事業部 ☎0465-22-3030へ。

大洋物流(株)	代表取締役 稲葉 秀之	小田原市鬼柳486	☎0465-37-5533
竹広林業(株)	代表取締役 高木 大輔	小田原市寿町3-1-39	☎0465-34-6600
(有)夕チバナ商事	代表取締役 露木 康裕	小田原市中村原154	☎0465-43-0537
	田中 浩	埼玉県北足立郡伊奈町小室2241-2	☎048-721-0872
茶半家具(株)	代表取締役 永井 健詞	小田原市栄町2-12-35	☎0465-23-1204
(資)ちんりう商事		小田原市栄町1-2-1	☎0465-22-4951
(有)鳥かつ楼	代表取締役 芹澤 孝	小田原市浜町3-1-46	☎0465-22-2078
(株)西川組	代表取締役 湯川 勇二	小田原市東町1-13-35	☎0465-34-2424
(有)日進電気商会	取締役 長田 皓	小田原市鴨宮287-4	☎0465-48-6288
仁天堂医院	理事長 岡村 俊一郎	小田原市浜町1-4-15	☎0465-22-5188
(株)長谷川建材社	代表取締役 長谷川 誠一	小田原市浜町1-1-35	☎0465-22-1346
(有)花のコウノ	代表取締役 河野 秀雄	小田原市栢山2421-3	☎0465-37-2882
浜野電気管理事務所	浜野 喜一	小田原市矢作321-6	☎0465-48-7475
平原眼科クリニック	院長 平原 敦子	小田原市南鴨宮3-44-3	☎0465-47-9330
古橋産婦人科医院	院長 古橋 進一	小田原市南町2-1-43	☎0465-22-2716
(有)古屋花店	取締役社長 古屋 正広	小田原市栄町1-14-16	☎0465-22-3043
文化堂印刷(株)	取締役社長 萩野 健治	小田原市寿町1-10-20	☎0465-34-9206
(株)ホンダ販売小田原	代表取締役 太田 茂雄	小田原市寿町5-10-21	☎0465-34-8012
(有)松坂屋	取締役社長 越川 俊雄	小田原市栄町1-16-46	☎0465-22-3020

マルク本店	取締役会長 高井 哲	小田原市本町2-4-23	☎0465-23-0909
三宅塗装工業(株)	代表取締役 三宅 史大	小田原市浜町3-12-26	☎0465-22-3689
	宝安寺檀家 村上 みつ系	小田原市南町4-10-15	☎0465-23-2760
(株)村山商店	代表取締役 村山 泰久	小田原市扇町2-27-28	☎0465-34-5685
諸星整体施術院	院長 諸星 茂	小田原市栄町2-13-21	☎0465-22-8067
安間医院	院長 安間 美津彦	小田原市栄町2-7-18	☎0465-23-3567
山口耳鼻咽喉科医院	院長 山口 潤	小田原市浜町3-12-1	☎0465-22-2631
(株)山安	代表取締役社長 山田 義征	小田原市羽根尾510	☎0465-23-0011
横田小児科医院	理事長 横田 俊一郎	小田原市北ノ窪515-3	☎0465-34-0666
吉井整形外科	理事長 吉井 新一	小田原市栄町2-15-16	☎0465-24-5151
読売センター小田原中央	代表 坂本 敬一	小田原市中町3-10-11	☎0465-21-0312
読売センター小田原報徳	所長 綿貫 徹	小田原市堀之内1	☎0465-36-3683
読売センター小田原西部	代表 高田 正	小田原市扇町2-7-15	☎0465-35-0746

には学校を卒業して「社会人」になります。社会に出る前の準備の場として、しおんワークプレイスは始まりでした。

しおんワークプレイスには、学校が終わった後の放課後の時間(16時〜18時)と休業日(夏休み等の長期休暇中や祝日等)10時〜14時30分の2つの受け入れ時間があります。いずれも作業訓練、生活訓練等を曜日ごとに分けて訓練しています。

Q どんなことをしていますか? (サービスク内容)

作業訓練では、初めに「報告ができるようになること」を訓練します。「できませんでした」という一言を繰り返して、言い忘れることがないようにしていきます。「できました」と言うた



友達がこんなにたくさんできました



季節に合わせた行事もたくさんあります

イミダングを掴むと、それを繰り返すことにより、困ったときに職員に声をかけるタイミングが掴めるようになります。そして、自分の判断だけで作業を進めてはいけ

ないことや、他の人との連携が必要ないことを学びます。また、近くにほうあん第一しおんの大人が一生懸命に仕事をしている姿が見えるので、「働くこと」をリアル



竹炭作りもみんなの力でいきます



いろいろなことにチャレンジしています

に、ゴミ分別ができるかできないかでその人の生活の幅が違ってくるから、生活訓練を行っています」と利用者やご家族に説明しています。そして、家庭でも習慣的、継続的に練習していただくようお願いしています。

「将来、本人が親元を離れて暮らしたときに行います。別、食器洗い、掃除、洗濯、洗剤(お茶出し)等を行います。

生活訓練では、ゴミ分別、食器洗い、掃除、洗濯、洗剤(お茶出し)等を行います。

「将来、本人が親元を離れて暮らしたときに行います。

これからも、いろいろな「初めて」がたくさん体験できるように企画を考えて、実施していきたいと思



カラオケはみんな大好きです

「初めて」を体験することは楽しく、挑戦しようという気持ちに繋がります。

これは将来に向けて大切な第一歩だと思っています。

「初めて」を体験することは楽しく、挑戦しようという気持ちに繋がります。

これは将来に向けて大切な第一歩だと思っています。



収穫したものは自分たちで調理して食べます

作業棟に入るときにも、大きな声で「こんにちは。お願いします」と挨拶できるようになつた方がいます。しおんワークプレイスで練習したことが、日常で実践できるようにするとき、とてもうれしく感じます。将来、どのような職場に通うことになつても、挨拶は本当に大切だと思います。

余暇活動では外出もします。ボウリング、カラオケ、バーベキュー、ハイキング、クリスマス会等、月に一度出かけています。公共の場を訪問することで、店内では走り回ったり、ふざけたりしない、大きな声で叫ばない等、公共のルールやマナーを学べます。職員だけではなく、年上の子が年下の子にルールやマナーを教える場面もあります。

「初めて」を体験することは楽しく、挑戦しようという気持ちに繋がります。

これは将来に向けて大切な第一歩だと思っています。

私たちは『福祉ほうあん』発行に協賛しています

Table listing various local businesses and their contact information, including addresses and phone numbers.

Table listing various local businesses and their contact information, including addresses and phone numbers.

ワークプレイスってどんなところ？

実際に利用されている利用者ご家族の声を紹介します。

Q1 しおんワークプレイスの利用を開始した理由を教えてください。

Q2 しおんワークプレイスは何かな場所ですか？

Q3 しおんワークプレイスへ何か一言お願いします。

早野さんのご家族より

ほうあんふじから小田原市内の小学校を経て、今年3月に中学校の特別支援学級を卒業します。4月からは小田原養護学校に通われる予定です。

A1 ためほほ毎日不在になることで、1人で留守番をさせるのが不安になり、預かってもらえるとこるとして通所させて頂いていただくようになりました。

A2 日中の面倒をみてもらいたいということで通所を始めたのですが、作業訓練や年齢の違う方や他の学校の方との関わりが増えることで、言葉遣いや作業に向う集中力など、いろいろな面で成長し驚かされています。生活訓練でも家庭ではできるところだけしかやらせ



早野さんは、みんなのムードメーカーです

ていませんでしたが、片付けまでが仕事ということも教えていただきました(洗剤は洗う、拭く、片付ける、フキンを干すなど)。現在の問題だけでなく、将来に向けての訓練が多く、本人は楽しみながら取り組んでいます。

A3 しおんさんでお掃除のやり方を教えていただいたおかげで、年末の大掃除はスムーズに終わりました。養護学校の見学のときは、しおんさんでのたぐさんのお友達に声をかけていただき、高校に行くのが楽しみになりました。指導員さんの温かい励ましで、作業を根気よく丁寧に続ける力がつきました。将来、少しでも多くの方が自立できるように、ご指導をお願いします。

鈴木さんのご家族より

小田原養護学校に在学。鈴木さんがしおんワークプレイスに興味を持ち、見学されたのは中学3年生のときです。それから約3年間利用しています。

A1 学校から帰ってきて特にやビデオを見る毎日でした。ストレスも溜まり、すぐにパニックを起こして家族とぶつかっていました。そんなときにしおんワークプレイスを紹介され、見学に行ったのがきっかけです。

A2 作業や生活訓練、いろいろな活動に参加して楽しい思い出を作り、本人が笑顔でいられるところです。家にいるよりしおんさんが大好きで、しおんがお休みの日は少し機嫌が悪く感じます。

A3 所長さんや職員の皆さまが利用者によく接して下さって、何が必要か、どうした



養護学校に通う鈴木さんは3年間も利用しています

らしいかを一緒に考えてもらい、感謝しています。これからもどうぞよろしくご指導ください。

青山さんのご家族より

今年3月に小田原養護学校を卒業し、春からはほうあん第一しおんへ通所をとても楽しみにされているそうです。

A1 高等部2年までクラブ活動や習い事等で忙しく利用を諦めていましたが、思いがけずスケジュールが空いたこと、知り合いから誘われたことが利用を開始したきっかけです。将来自立できるような社会性を身につけて欲しいという思いがありました。

A2 作業訓練では「仕事力」、生活訓練では「家事力」、仲間とのふれあいで「コミュニケーション能力」、その他の挨拶、礼儀、礼節、マナーやルールなどが、さまざまな経験を積むことで自然と身に付く場所なのではないかと思えます。しかし、時には仲間とのふれあいの中で気持ちがぶつかることもありま



青山さんは養護学校卒業後、第一しおんへ通所します

A3 息子は、この1年で劇的に変化し、成長しました。顔つきも態度もしっかりしたと皆さんに言われます。そして何よりもうれしかったのは、第一希望の進路先に受け入れられたことを一緒に喜んでくれたことです。その姿は、まるで進学塾の先生のようにでしたね。もっと早く(中学)からしおんワークプレイスを利用してあげれば良かったと悔やんでいます。最後に、いつも愛情を持って子ども向き合っていただきまして、本当にありがとうございます。

さまざまな繋がりが大きな財産に

私たちしおんワークプレイスは、いくつもある放課後等デイサービスのひとつですが、利用される一人ひとりに寄り添い、将来の力を培える場所になれるよう、その人その人に合った支援を行っています。障害の有無に拘わらず、日々の小さなことの積み重ねが、将来の力となり、生活を豊かにすることに繋がると考えます。

また、皆さんに将来のビジョンをお示しすることも、私たちの役割と責任です。「社会人」になるための準備の場と

クリスマスプレゼント

平成27年12月にヒルトン小田原リゾート&スパの社員様より、ほうあん第一しおん・第二しおんの利用者の全員にクリスマスプレゼントを頂きました。

このご厚意は今年3年目を数え、利用者ご家族、職員一同は、社員の皆さまの温かいお気持ちに感謝でいっぱいです。クリスマス会にもご参加いただき、サンタになっただけだったり、ゲームや音楽演奏、合唱・合奏を行ってクリスマスの一ひときを楽しみました。また交流を深めていければ幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



ヒルトン小田原の皆さまもクリスマス会に参加

以上3名の方のご家族にお話を聞きました。3名ともに将来を見据えた訓練を行っています。利用の目的や経過がそれぞれに違います。このような方が通われているのが、私たちしおんワークプレイスです。興味のある方は、2日間の体験利用も実施していますので、見学にお越しただけたらと思います。



年齢の仲間との繋がりが、先輩との繋がりが、他校の生徒との繋がりが、障害のある大人との繋がりが、職員との繋がりが、さまざまな繋がりを皆さんは手に入れていかして訓練で得られるものと同じか、もしくはそれよりも大きな財産となつていられるように思えます。

そして、この「繋がりが本人の将来にとって掛け替えのないものになると信じて、これからも支援していきたいと思えます。

車椅子のご寄贈

平成27年12月に東京海上日動火災保険株式会社神奈川支店湘南西湘エリアさまより、ほうあん第二しおんへ車椅子が1台寄贈されました。

新しく使いやすい車椅子の寄贈に、利用者の方もたいへん喜んでます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

